

江戸の神田八丁堀の住人、弥次郎兵衛と居候の北八は、厄落としのためにお伊勢参りの旅に出る。東海道を行く二人は、珍道中を続けている。

弥次郎兵衛あまりにくたびれければ、先づここはづれの茶店に腰をかけたるに、あるじの婆々「アイ茶アまいりませ

弥次「モシ赤坂まではもふ少しだの

婆々「アイたんだ十六丁おぎるが、おまへ一人なら、この宿に泊まらしやりませ。この先の松原へは、悪い狐が出おつて、旅人衆がよく化かされ申すは

弥次「そりやア気のねへ話だ。しかしここへ泊まりたくても、連れが先へ行つたからしかたがねへ。エエきついこたアねへ。やらかしてくれふ。アイお世話

ト茶代を置き、このところを立ち出で行くに、暗さは暗しうそ気味悪く、まゆ毛につばをつけながら行く。はるか向かふにて、狐の鳴く声「ケンケン

弥次「ソリヤ鳴きやアがるは。おのれ出て見ろ。ぶち殺してくれふ

ト力みかへつてたどり行くに、北八も先へかけぬけ、ここまで来たりしが、これもここへ狐が出るといふ話を聞きて、もしもばかされてはつまらぬと、弥次郎を待ち合はせ、連れ立ち行かんと思ひ、土手に腰をかけ、たばこのみいたりけるが、それと見るより

北八「ワイワイ弥次さんか

弥次「ヲヤ手めへなぜここにゐる

北八「宿とりに先へ行かふと思つたが、ここへは悪い狐が出るといふことだから、一緒に行かふと思つて待ち合はせた

ト言ふに弥次郎心つき、こいつきやつめが、北八に化けたなと思ひければ、わざと弱みを見せず

弥次「糞を食らへ、そんなでいくのじやアねへは

北八「ヲやおめへ何をいふ。そして腹が減つたるふ。餅を買つて来たから食ひなせへ

弥次「ばかアぬかせ。馬糞が食らはれるものか

北八「ハハハハハコレ俺だはな

弥次「俺だもすさまじい。北八にそのままだ。よく化けやアがつた、畜生め

北八「アイタタタタ弥次さん、コリヤどふする

弥次「どふするもんか。ぶち殺すのだ

トうつかりしたところをぐつと突き倒して、弥次郎その上へ乗りかかり押さへる

北八「あ痛あ痛

弥次「痛かア正体を現せ現せ

北八「アレサ尻へ手をやつてどふする

弥次「どふするもんか尻尾を出せ。出さずばこうする

ト三尺手拭ひを解き、北八が手を後ろへ回して縛る。北八おかしく、わざと縛られていると

弥次「サアサア先へ立つて歩け歩け

ト北八をくくり後ろからとらへて、追つ立て追つ立て赤坂の宿に至る。

【口語訳】

弥次郎兵衛はあまりにも疲れたので、まずはこの宿場の外れの茶店に腰を掛けていると、あるじの婆々「はい、お茶あがりませ」

弥次「もし、赤坂まではもう少しだろうの」

婆々「はい、たった十六丁でおざるが、あなたお一人なら、この宿場に泊まりなさいませ。この先の松原では、悪い狐が出おって、旅人衆がよく化かされ申すわ」

弥次「そりゃあ気が進まねえ話だ。しかしここへ泊まりたくても、連れが先へ行ったからどうしようもねえ。ええ大したことはあるまい。行ってしまおう。はい、お世話さま」

と茶代を置き、この場所を出立して行くが、ひどく暗いことは暗いし薄気味悪く、眉毛に唾をつけながら進んで行く。はるか向こうで、狐の鳴く声「ケンケン」

弥次「そりゃあ、鳴きやがるわ。おのれ出て見ろ。ぶち殺してくれよう」

と力みかえってたどって行くと、北八も先へ駆け抜け、この所まで来ていたが、これ（北八）もここへ狐が出るといふ話を聞いて、もしも化かされては困ると、弥次郎を待ち合わせ、連れ立って行こうと思ひ、土手に腰を掛け、煙草を吸っていたところ、弥次郎を見つけて

北八「おいおい、弥次さんか」

弥次「おや、手めえなんでここに居る」

北八「宿を取りに先へ行こうと思ったが、ここへは悪い狐が出るといふことだから、一緒に行こうと思つて待つていたんだ」

と言うと弥次郎は気がついて、こいつは狐めが、北八に化けたなと思つたので、わざと弱みを見せず

弥次「糞くらえ、そんな手でだまされる俺じゃあねえわ」

北八「おや、おめえは何を言う。さて腹が減つたらう。餅を買つて来たから食いなせえ」

弥次「ばかあ抜かせ。馬糞が食えるものか」

北八「はははははは、おい俺だよ」

弥次「俺だ（と言うの）もあきれた。北八にそっくりだ。うまく化けやがった、畜生め」

北八「あいたたたた弥次さん、こりやどうするつもりだ」

弥次「どうするもあるものか。ぶち殺すんだよ」

と（北八が）うっかり油断したところをぐっと突き倒して、弥次郎はその上へ馬乗りになつて押さえ込む

北八「あ痛あ痛」

弥次「痛けりや正体を現せ現せ」

北八「あれさ、尻へ手をやつてどうするんだ」

弥次「どうするもあるもんか、尻尾を出せ。出さなければこうする」

と三尺手拭を解き、北八の手を後ろへ回して縛る。北八はおもしろく思つて、わざと縛られていると

弥次「さあさあ、先へ立つて歩け歩け」

と北八をくくり後ろから捕らえて、追つ立て追つ立て赤坂の宿に着く。